

経営体の概要

- ・所在地：広島県世羅町
- ・経営体名：（農）穂MINORI
- ・作付面積：水稲73ha，大麦13ha
- ・従業員数：8名（令和6年4月末現在）

導入経緯

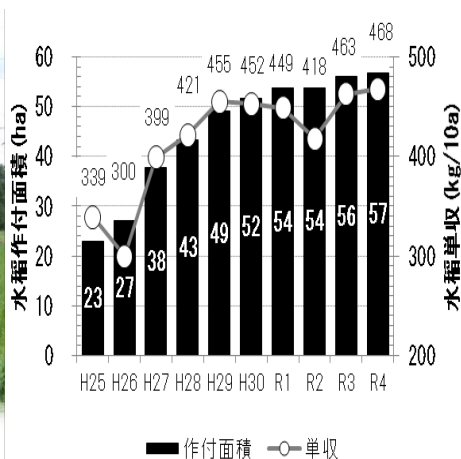
- 中山間地域に位置する当該法人の管理圃場枚数は500枚を超え、平均区画は16a程度と小さい。
- これまで病害虫防除作業は主にハイクリブームを利用していたが、防除作業に多くの労力を要していた。
- 令和3年に作業の省力化を目的としてドローンを導入。

導入技術

- ・ドローン Agras T-20（DJI社製）
16リットルの大容量タンクを搭載した大型ドローン



ドローン防除の様子



取組の特徴・効果

- ドローン導入による防除作業の省力化によって、これまで対応できていなかった追肥，生育データ蓄積などの取り組みに着手。人材育成と生育に応じた肥培管理の徹底により更なる単収・品質の向上を目指している。
- 本田防除の省力化（所要時間※が1/3に）
 - ・ドローン導入前：約15分/10a
 - ・ドローン導入後： 5分/10a
 - ※作業時間×作業人員
- 追肥等の肥培管理徹底による収量改善（グラフ）
 - ・令和2年産（54ha） 418kg/10a
 - ・令和3年産（56ha） 463kg/10a
 - ・令和4年産（57ha） 468kg/10a
- 人材育成と生育に応じた肥培管理実施に向けた生育データ蓄積（令和4年産から着手）